



70th
ANNIVERSARY

神奈川県教職員組合結成70周年記念



挨拶

原点を大切に 常に新しきものを求めて

神奈川県教職員組合 執行委員長 芹 沢 秀 行

神奈川県教職員組合は、第二次世界大戦の惨禍がさめやらない1947年11月5日、神奈川県下の教職員が結集し、教育に対する切実な危機感と民主主義を築き上げようとする熱烈な願望から組合の旗を立てました。当初より、働く教職員自らの生活の維持向上を求めつつ、十分な教育を受ける権利が保障されない子どもたちに、教育・学習の機会を保障すべく運動をすすめてきました。

神奈川県の教職員組合運動は、戦後、日本の教職員組合が向かい合った最大のたたかいであった「勤評制度導入反対」のとりくみにおいて、1958年子どもを中心とする徹底した論議、教育理念の実現をめざし、教育行政・管理職・教職員が関係法規を理解し、教職員の働き方を確立する観点で粘り強く決着の道をさぐるという「勤評神奈川方式」をつくりあげました。このとりくみは、「神奈川方式」として教訓化され、それ以降の運動のモデルとなりました。

1968年3月13日、第26回臨時大会において10年越しの討議を経て、さらなる組織強化・たたかう体制の確立をめざし、七地区教職員組合の連合体制とする組織改革を行いました。地区教組は独自のとりくみを行うとともに、神教組運動の前進をはかる重要な役割を担ってきました。

1975年には、文部省がすすめる「主任制度」に対して、日教組の「非常事態宣言」に結集し徹底して反対しつつも、「主任制度・主任手当制度の神奈川方式」をつくり上げ運動を総括しました。それ以降も、組織の総力をあげて徹底論議を行い、「初任者研修」「人事評価制度」「新たな学校運営組織」「勤務成績の給与への反映」「県立高校入学者選抜制度」それぞれ神奈川方式として結実させてきました。

今回、私たちは、2017年4月に実施された政令市への給与負担移譲によって、県域ならびに政令市教職員の賃金・労働条件等交渉のあり方が変化することを受け、県労連・県教委、三政令市・政令市教委との勤務労働条件交渉の体制確立と、教職員組合として全県的な運動課題への対応力の体制確立をめざし、組織改編を行うことになりました。

2018年4月より、「構成組織の綿密な連帯により、教職員の経済的、社会的、政治的地位の向上」等を目的として、あらたに「かながわ教職員組合連合」としてスタートし、神奈川県教職員組合の名称は、県域教組の組合が継続していくことを12月13日の第93回臨時大会において確認しました。

引き続き、神奈川の地において、全国の教職員組合と連帯し、県内教育運動・労働運動・平和・人権のとりくみ、政治闘争などをとりくんで行く決意です。



祝辞

結成70周年に寄せて

教職員共済生活協同組合 理事長 加 藤 良 輔
(前神教組執行委員長)

神教組結成70周年を心よりお祝いたします。また、70年の歩みの半分近い年月、神教組とともに歩んでこれた事を誇りに思うとともに、来し方を振り返ると感慨深いものがあります。

40周年を迎えた時は中教組の書記長でした。50周年は中教組執行委員長、60周年は神教組の執行委員長として関わってきました。そして70年の節目は共済の理事長としてお祝いをする事ができます。私にそんな関わりを持たせてくださった多くの先輩・仲間、そして神教組の歴史に心から感謝を申し上げます。

もう一年以上前の事です。日教組中央執行委員長を退いた後、長く日教組運動を支えてこられた一人の先輩と昼食をとる機会を持ちました。彼はそのとき、こう話してくれました。

「日教組の組織も運動も先輩たちからの預かり物。いや、歴史からの預かり物かもしれない。君たちはその事を忘れていないか？」

先輩たちからの預かり物だからこそ、後に続く人たちに引き継いでいく。歴史からの預かり物だからこそ、根底に流れる思いや理念、組織の歴史的な存在意義を大事にしなければならない。そういうことなのだろうと思いました。形式的なものではないという事も含めて。

70年の歴史から、神教組に引き継いでいただきたい理念や運動、そしてそれを担う組織とはどうあるべきか？退いた者がいうべき事ではないかもしれませんが、また間違っているかもしれませんが、私は「自立（自律）と連帯」だと思っています。

神教組は元々特徴的な組織形態をとっています。1968年以来七地区教組の連合体として組織し、運動は単一的にとりくんできました。それは「自立（自律）」した七つの地区教組と、神奈川の子どものための教育をつくりあげていくための「連帯」による運動が両立しているという体制だと思ってきました。

そんな体制だからこそ、地域に密着し目の前の子どもたちのための運動を構築する事ができましたし、神奈川総体さらには日教組運動に発信する教育運動をつくりあげることができたのだと思います。旧くは「神奈川方式」と呼ばれたさまざまな運動と教育施策であり、「教育県民運動」でした。新しくは「人事評価制度」や「学校運営組織」の論議、「神奈川版こども支援連絡会」です。

時代とともに、組織と運動のありようが変わるのは当然のことではあるでしょう。しかし運動の根底にある、子どもたち、組合員、そして神奈川の教育のための「団結と連帯」が未来の組合員に引き継がれていくことを心より願って、お祝いのことばといたします。



祝 辞 結成70周年によせて

神奈川県知事
黒 岩 祐 治

このたびは、神奈川県教職員組合が結成70周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴組合は、昭和22年の結成以来、本県の教育の充実・発展に大きな貢献をしてこられました。この間、貴組合の運営、事業に携わってこられた歴代の執行委員長はじめ執行委員の方々、組合員の皆様の御尽力に心から敬意を表します。

さて、本県では、県の総合計画である「かながわグランドデザイン」を策定し、現在、第2期実施計画に取り組んでいます。その教育施策を踏まえて、「『いのち』を大切に作る心を育む教育の推進」をはじめとする6つの柱からなる「かながわ教育大綱」を策定しており、明日のかながわを担う人づくりを進めています。

教育は行政だけで成し遂げられるものではなく、地域・家庭・学校が連携して取り組んでいくことが大切です。豊かな学びを支える教育環境の実現のために、貴組合の皆様の、長年教育に携わってこられた貴重な御経験と御熱意を生かして、今後とも、お力添えを賜るよう、お願い申し上げます。

結びに、神奈川県教職員組合のさらなる御発展と、組合員の皆様のますますの御健勝、御活躍をお祈り申し上げまして、結成70周年によせてのお祝いの言葉といたします。



祝 辞 「心ふれあう しなやかな 人づくり」に向けて

神奈川県教育委員会 教育長
桐 谷 次 郎

神奈川県教職員組合が結成70周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

これまで、様々な教育活動を通して、かながわの子どもたちの豊かな育ちと学びを保障する行き届いた教育の実現に向けて、芹沢執行委員長をはじめ、歴代の執行委員の方々、そして組合員の皆様に御尽力いただいてきたことに深く感謝申し上げます。

本県では、教育の総合的な指針である「かながわ教育ビジョン」を策定し、「思いやる力」、「たくましく生きる力」、「社会とかかわる力」を教育目標に掲げ、今日の教育課題を解決していくための8つの重点的な取組を示しています。取組の中でも「学び高め合う学校教育」や「意欲と指導力のある教職員の確保・育成と活力と魅力にあふれた学校づくり」などを進めるには、皆様方との協働が不可欠です。

また、学校における課題の複雑化・困難化などにより、長時間勤務等、教職員の負担が増大していることから、市町村教育委員会と連携して教員の働き方改革の取組を進めてまいります。市町村立学校における取組の促進には、皆様方の御理解が必要です。

皆様方におかれましては、引き続き、これまで培われた豊富な知識と経験を教育活動に生かしていただくとともに、かながわの人づくりに向けて、一層の御協力を賜りますようお願いいたします。

最後に、70周年を節目として、神奈川県教職員組合の一層の御発展を祈念しまして、お祝いの言葉といたします。



祝 辞 70周年を契機にさらなる飛躍を！

日本教職員組合 中央執行委員長
泉 雄一郎

神奈川県教職員組合の結成70周年を心からお祝い申し上げます。

神教組は、「神奈川方式」を言われる日教組運動にとって先導的な成果を数々と勝ち取ってこられました。心からの敬意を表します。

働き方改革が声高に叫ばれる今日、教職員の長時間労働は正のとおりくみは、組合の存在が実感できるとりくみとして、組織の拡大・強化につなげていける最大のチャンスです。また、協力・協働の職場づくり、仲間を支える分会会議、子どもを巡って議論できる職場教研を活性化していく最大のチャンスでもあります。このチャンスを逃さず、実効性がある具体的なとりくみに期待しています。

日本国憲法が危ない、平和と民主主義、教育の危機をひしひしと感じる今日、「平和を守り、真実をつらぬく民主教育の確立」のためにも、先輩方が営々と築いてこられた70年の運動と教育研究活動の歴史と成果・教訓に学び、若い世代にも継承していく重要性が高まっています。そして、そのとりくみが「すべての子どもにゆたかな学びを保障する」ことにつながっていくのだと考えています。職場を原点に、未来につなげる運動をすすめてまいりましょう。

神教組が、結成70周年を契機として、「個性・共生・共育」を基調とした教育の「質的充実」など、運動をさらに前進・発展させ、新たな成果を獲得されることを心からご祈念申し上げます。



祝 辞 結成70周年によせて

連合神奈川 会長
柏 木 教 一

神奈川県教職員組合が結成70周年を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。

これまで、子どもたちの豊かな育ちと学びの実現や、教職員がいきいきと働き続けられる職場づくりをめざし、神教組運動をすすめてこられた歴代の執行委員長はじめ執行委員の方々、組合員のみなさまに心から敬意を表します。

教職員の長時間労働は、もはや見過ごすことのできないレベルまで悪化しています。連合総研のデータでは、小学校で約7割、中学校で約8割の教員が過労死ラインの残業を余儀なくされています。一連の働き方改革における議論は、三六協定中心の民間企業対象をベースとした議論であったため、教職員に関しては依然解決の糸口が見えません。

しかし、「働き方改革実現会議」の中で連合会長が、この問題について再三にわたる指摘をしたこともあり、中央教育審議会に「学校における働き方改革特別部会」が設置され、改革の第一歩が始まりました。

社会全体で、長時間労働は正にむけた機運が生まれてきた今、学校現場でもこの風を逃してはなりません。このとりくみは、組合の存在をアピールし、組織を拡大・強化するチャンスでもあります。過労死等ゼロはもとより、全ての働く者の命と健康を守り健やかに働き続けられる社会の実現にむけて、連携を強化していきましょう。

最後に、神教組が結成70周年を契機にますます発展されますようにご祈念申し上げ、お祝いの言葉とします。

2007年度

年金記録漏れ発覚
赤ちゃんポスト設置認可

- かながわ教育ビジョン策定
- 全国学力・学習状況調査開始
- 10年ぶりの給与差額支給実現
- 栄養教諭の任用開始
- 第21回参議院議員選挙（日政連神本美恵子再選）
- 神教組結成60周年を記念するつどい開催



2009年度

裁判員制度開始
バンクーバー五輪

- 教員免許更新制導入
- 中学校教科書採択
- 2年間の給料3%カット
- 神教組第一次男女平等参画推進計画策定
- 第45回衆議院議員総選挙（民主党政権発足）
- 新型インフルエンザ流行



2008年度

北海道・洞爺湖サミット
北京五輪

- 学習指導要領告示
- 育児短時間勤務制度導入
- 神教組青年教職員連絡協議会設置
- 原子力空母ジョージ・ワシントン横須賀母港化
- 1日の勤務時間が8時間から7時間45分に変更
- 日教組中村譲委員長を励ます会開催



2010年度

アジア太平洋経済協力会議横浜開催
東日本大震災

- かながわ教育フェスティバルが始まる
- 小学校教科書採択
- 公立高校授業料無償化
- 短期介護休暇新設
- 第22回参議院議員選挙（日政連那谷屋正義再選）
- 神教組栄養職員部から栄養教職員部へ名称変更



2011年度

サッカー女子W杯 なでしこジャパン世界一
地上デジタル放送完全移行

- 小学校外国語活動の全面実施
- 小学校1・2年生の35人以下学級実質実現
- 中学校教科書採択
- 小学校学習指導要領実施
- 東日本大震災ボランティア派遣
- 日教組平和集会在横須賀で開催される



2013年度

食材虚偽表示問題
ソチ五輪

- 新たな入学者選抜制度(前期後期一本化)
- 神教組ホームページ開設
- いじめ対策推進法成立
- 第23回参議院議員選挙(日政連神本美恵子三選)
- 日教組第101回定期大会が横須賀で開催される



2012年度

東京スカイツリー開業
ロンドン五輪

- 子ども支援神奈川連絡会設立
- 月例給・地域手当4%減額
- 退職手当支給率見直しによる減額
- 中学校学習指導要領実施
- 第46回衆議院議員総選挙(第二次安倍政権発足)
- 日教組中村譲前委員長に感謝し、
加藤良輔委員長を励ます会開催



2014年度

消費税8%に増税
御嶽山噴火

- 新教育委員会制度導入
- 神教組第二次男女平等参画推進計画策定
- 事務職員再任用フルタイム5級実現
- 給与の差額支給実現
- 神教組憲法学習会が始まる
- 第47回衆議院議員総選挙(戦後最低の投票率)



2015年度

マイナンバー制度開始
スポーツ庁発足

- かながわ教育大綱公表
- 配偶者同行休業制度導入
- 県立高校改革実施計画公表
- 給与の差額支給実現
- 安全保障関連法成立
- 原子力空母ロナルド・レーガン横須賀母港化



2016年度

熊本地震
津久井やまゆり園事件

- 給与の差額支給実現
- 障害者差別解消法施行
- 女性活躍推進法施行
- 第24回参議院議員選挙(日政連那谷屋正義三選)
- 熊本地震ボランティア派遣
- 日教組加藤良輔前委員長、
野川孝三前局長に感謝する会開催



2017年度

将棋・藤井四段 29 連勝達成
陸上・桐生祥秀 100 m日本初の9秒台

- 政令指定都市への給与費等移譲(4月)
- 学習指導要領告示
- 公務員等へのiDeCo利用が始まる
- 第48回衆議院議員総選挙(民進党の分裂)
- 神教組第三次男女平等参画推進計画策定
- 神教組結成70周年
- 給与の差額支給実現予定
- かながわ教職員組合連合設立大会(3月予定)



神教組歴代役員名簿

2008年度

執行委員長	加藤 良輔	執行副委員長	町田 清	中島 希子	書記長	芹沢 秀行	書記次長	磯崎 理知	林 繁
執行委員	角田 達夫	碓井 千鶴	吉田 和男	高緑 慶子	播岡 聡	尾形ふみ子			
日教組中執	中村 譲	野川 孝三		中央労金	吉田 正和	連合神奈川	柏木 教一		

2009年度

執行委員長	加藤 良輔	執行副委員長	町田 清	細江 希子	書記長	芹沢 秀行	書記次長	磯崎 理知	林 繁
執行委員	角田 達夫	碓井 千鶴	吉田 和男	高緑 慶子	播岡 聡	尾形ふみ子			
日教組中執	中村 譲	野川 孝三		中央労金	吉田 正和	連合神奈川	柏木 教一		

2010年度

執行委員長	加藤 良輔	執行副委員長	芹沢 秀行	平井 知一	書記長	政金 正裕	書記次長	平山 俊広	関口 清
執行委員	角田 達夫	碓井 千鶴	山口 勝之	高緑 慶子	岡田 克史	尾形ふみ子			
日教組中執	中村 譲	野川 孝三		中央労金	吉田 正和	連合神奈川	柏木 教一		

2011年度

執行委員長	加藤 良輔	執行副委員長	芹沢 秀行	平井 知一	書記長	政金 正裕	書記次長	平山 俊広	関口 清
執行委員	角田 達夫	碓井 千鶴	山口 勝之	高緑 慶子	播岡 聡	木村 生子			
日教組中執	中村 譲	野川 孝三		中央労金	吉田 正和	連合神奈川	柏木 教一		

2012年度

執行委員長	芹沢 秀行	執行副委員長	平井 知一	平山 俊広	書記長	政金 正裕	書記次長	関口 清	宮坂 正
執行委員	渡邊 幹夫	前田美代子	山口 勝之	鈴木 千里	谷口 弘子	木村 生子			
日教組中執	加藤 良輔	野川 孝三	高緑 慶子	中央労金	吉田 正和	連合神奈川	柏木 教一		

2013年度

執行委員長	芹沢 秀行	執行副委員長	平井 知一	平山 俊広	書記長	政金 正裕	書記次長	関口 清	宮坂 正
執行委員	渡邊 幹夫	大橋由紀子	山口 勝之	鈴木 千里	谷口 弘子	中澤 淑美			
日教組中執	加藤 良輔	野川 孝三	高緑 慶子	中央労金	吉田 正和	連合神奈川	柏木 教一		

2014年度

執行委員長	芹沢 秀行	執行副委員長	平山 俊広	田中 剛	書記長	政金 正裕	書記次長	宮坂 正	渡邊 幹夫
執行委員	磯崎 俊彦	大橋由紀子	山口 勝之	塩野 優子	谷口 弘子	南場 裕子			
日教組中執	加藤 良輔	野川 孝三		中央労金	吉田 正和	連合神奈川	柏木 教一		

2015年度

執行委員長	芹沢 秀行	執行副委員長	平山 俊広	田中 剛	書記長	政金 正裕	書記次長	宮坂 正	渡邊 幹夫
執行委員	松川 昌平	大橋由紀子	山口 勝之	塩野 優子	谷口 弘子	高木美納江			
日教組中執	加藤 良輔	野川 孝三		中央労金	吉田 正和	連合神奈川	柏木 教一		

2016年度

執行委員長	芹沢 秀行	執行副委員長	田中 剛	宮坂 正	書記長	政金 正裕	書記次長	谷 雅志	上中 研治
執行委員	松川 昌平	大橋由紀子	加藤 礼信	白井 千浪	柴田 誠	小森 春美			
日教組中執	倉田 亨			中央労金	吉田 正和	連合神奈川	柏木 教一		

2017年度

執行委員長	芹沢 秀行	執行副委員長	田中 剛	宮坂 正	書記長	政金 正裕	書記次長	谷 雅志	上中 研治
執行委員	宮崎 大	大橋由紀子	中野 一泰	白井 千浪	柴田 誠	黒田真由美			
日教組中執	倉田 亨	北村 智之				連合神奈川	柏木 教一		

神奈川県教職員組合

横浜市教職員組合

川崎市教職員組合

三浦半島地区教職員組合

湘南教職員組合

湘北地区教職員組合協議会
(湘北教職員組合・相模原市教職員組合)

中地区教職員組合

西湘地区教職員組合

神奈川県教職員組合結成70周年記念

2018年1月発行

編 者 神奈川県教職員組合

発行者 芹 沢 秀 行

発 行 神奈川県教職員組合

〒220-0053 横浜市西区藤棚町2丁目197番地

TEL 045-241-3531 FAX 045-242-7418

<http://www.ktu.or.jp>
